

新型コロナウイルス感染症防止対策 KY活動等におけるチェックポイント

別紙2

鳥取県
県土整備部
令和3年8月

新型コロナウイルス感染予防対策には現場単位の注意喚起に加えて、朝礼等で個人の意識を高めることが必要です。

朝礼・KY活動におけるポイント

- 朝礼時の配列間隔の確保
(作業員間の一定距離の確保(2m程度))
- 対人間隔が確保困難な場合等の朝礼の参加人数の縮小等
(参加者を職長のみとし、朝礼後にグループ別に伝達事項等を共有する等)
- 伝達事項等に即した朝礼等の時間短縮や内容の効率化
(説明のポイントを絞った時間短縮、伝達事項が明確な資料の活用等)
- 肩もみ等の接触を伴う活動の省略
- 朝礼時の体温測定等(非接触体温計の活用等)
- テレビ通話ツール等の利用による現場・事務所間の遠隔開催等

現場事務所等での業務・打合せのポイント

- 事務作業時の対人間隔の確保や窓等の開放による換気
- Web(TV)会議やメール・電話による対面の打合せ等の削減
- 対面で打合せ等を行う場合には十分な対面距離を確保
(例)対面距離を2.0m以上空ける、3人掛けの机を2人掛けで利用する、対面とならないよう座席を配置するなど
- 時間差による打合せの分散化や、打合せ時間の短縮・人数の縮小
- 現場事務所等での空気清浄機の使用

食事・休憩時のポイント

- 休憩室等の窓・ドア等の常時開放や定期的な換気の励行
- 車中における食事・休憩の励行、休憩時間の分散化
(時間差による休憩室や更衣室等の利用、班別の休憩取得の励行など)
- 更衣室や休憩室等での一定の対人距離の確保
- 簡易なパーティション(アクリル板等)による密接の防止
- 手洗い時のタオルの撤去(ペーパータオルの利用等)

現場作業や移動時のポイント

- 作業員の配置のブロック分けによる密接した作業の回避
- 車両での移動時の同乗・相乗りを避け個別の移動を励行
(現場へ移動するための車両数を増やす、近隣に借地し駐車スペースを確保する等)
- 現場と自宅の直行直帰の推奨
- 重機や車両等の操作前の消毒等の徹底
(ハンドルや操作レバー等を消毒する、車両運転時にゴム手袋を着用する等)
- 密室・密閉空間での換気や送風機等の使用の励行
(室内作業や型枠組立、内装工事など)

業務外の感染リスクが高まる飲食

- 飲酒を伴う懇親会等(飲酒による注意力低下、聴覚が鈍化し、大きな声になりやすい)
- 大人数や長時間におよぶ飲食(夜の飲食は通常の食事に比べて感染リスクが高まる)
- マスクなしでの会話(マスクなしに近距離で会話することで飛沫感染のリスクが高まる)

